

安全運転を心がけて

ウィーラースクール
6月19日（金）、治田小学校の3年生が「ウィーラースクール」に参加しました。ウィーラースクールは、自転車競技への関心を高めながら、より安全に自転車を楽しんでもらうことを目的としています。児童たちは、いなべ警察署の署員から交通安全について教わった後、キナンレーシングチームの選手たちからヘルメットのかぶり方や自転車の乗り方を学びました。その後、実際に自転車に乗り、体育館に作られたコースでコーンを避けるなど、普段とは違う乗り方に挑戦。笑い声を響かせながら、安全運転を練習しました。児童たちは「難しかったけど楽しかった」「自転車がもっとできるようになりたい」と話していました。

1. 新城雄大選手（左）、花田聖誠選手（右）と一緒に記念撮影
2. 一生懸命練習します
3. 質問に答えながら交通安全を学びます
4. 楽しく自転車の安全運転を練習します



左から、冊子作成に協力したいなべFMの武藤さん、伊藤さん、教育長



文化財を未来につなぐ

いなべの宝を次の世代へ
6月8日（月）、一般社団法人いなべ市観光協会から、「いなべ市歴史探訪」をはじめとする3種類の冊子が寄贈されました。これらは、市内にある城や神社などの文化財について紹介するものです。同協会の伊藤会長は、「読むだけでなく、現地に行って実際に見てもらいたい」と話し、現地の案内人を育てる事業にも力を入れています。冊子は、北勢、員弁、大安の3図書館と市内の各小中学校に設置されています。

その時々々に任された仕事を一生懸命に続けてきたと話す佐藤さん



旭日単光章を受賞

長年の地方自治への功績が評価
元藤原町議会議員の佐藤忠生さんが、旭日単光章を受章しました。佐藤さんは昭和55年から20年にわたり町議会議員を務め、この間、議長として議会運営に尽力したほか、企業誘致や農業公園の整備など、その後の藤原地域の発展につながるまちづくりに大きく貢献しました。受章にあたり佐藤さんは、「議員を続けられたのは、町の皆さま、親族や関係者の方々の支えがあったからです」と長年の感謝の思いを語りました。

スマイルフェスタ

市民活動団体が出展し交流
6月20日（土）、21日（日）に北勢市民会館および市内の各活動拠点にて、「スマイルフェスタ 2026」が開催されました。このイベントは、市民活動への理解を深め、ボランティア活動に参加するきっかけ作りの場として毎年開催されています。20日（土）は、市内の活動団体がブースを設け、日頃の活動の発表や紹介をしていました。訪れた人々は展示品を眺めたり、体験ブースで楽しんだりしていました。21日（日）は、舞台発表が行われ、大勢の人々で賑わっていました。初日はあいにくの雨模様でしたが、会場内は活気にあふれ、市民活動団体との交流を深めていました。

1. 各団体の名前が入った旗を掲げての活動紹介
2. 警察ブースでは警察官と交流を深めていました
3. 「ラニフラスタジオ」のフラ
4. 両手いっぱいのおもちゃに笑みがこぼれます
5. 学生ボランティアの皆さん



新車両を前に、市長と院長と DMAT 隊員で記念撮影



DMAT救急車を配備

災害医療体制の充実に向けて
6月25日（木）、三重北医療センターいなべ総合病院で、DMAT救急車配備の感謝状贈呈式が行われました。式では、DMAT隊員による能登半島地震での活動報告に続き、車両配備に対し市へ感謝状が贈られました。式の最後には、ふるさと納税を活用して配備された新車両が披露されました。以前のものよりも機能が改良された本車両は、今後、災害時の救急医療活動や患者搬送などで活用されます。

賞状を持つての撮影。得意なドライブで戦います



卓球で全国大会へ

楽しくて大好きな卓球
6月26日（金）、向陽台高校に通う上野結翔さんが市長を訪問しました。上野さんは、5月に開催された三重県高等学校総合体育大会定時制・通信制卓球大会において、団体戦で優勝、個人戦で準優勝し、8月に行われる全国高等学校定時制・通信制体育大会第59回卓球大会への出場を決めました。市長から全国大会への抱負を聞かれると、「まずは一戦目を勝ちたい。準決勝まで進みたい」と答えていました。